

TTC ゆった〜り山行実施記録

2013年11月23日 報告者:坂本 達治

山行名	曲岳から黒富士 [1,642m・1,635m/山梨県]						
実施日	2013年11月17日 [日]		日帰り	マイカー3台利用			
天候/レベル	天候:曇り後晴れ レベル:★★☆		参加者【申込16名/参加16名】				
パーティスタッフ	CL:、SL/計画:、会計:、救護:、写真: スタッフ名削除						
参加メンバー ☆:班長	A班:☆、(車提供/ドライブ正)、(ドライブ副)、 B班:☆(車提供/ドライブ正)、(ドライブ副)、 C班:☆、(車提供/ドライブ正)、(ドライブ副)、		参加者氏名削除 参加人員:16名(男7名/女9名) 計画16名				
費用 一人当たり 3,600円 カンパ金 660円	(内訳)ドライブ謝礼@5,000×3台=15,000円、マイカー使用料(@10×320km)×3台=9,600円、 燃料代[(@155×320km/8)×2台]+(@155×320km/5)=26,040円、高速道路代(相模湖IC~ 双葉SA:往復)[@1,050×3台×2=6,300円<ETC割引> 【支出合計】56,940円 【収入合計】@3,600×16名=57,600円 【TTCカンパ金】57,600円-56,940円=660円						
歩行/行動時間		歩行時間	休憩時間など	行動時間	行動時間比(実行/計画) 0.85		
	ガイドブック	4:00	—	—	歩行時間比(実行/計画) 0.67		
	計画	4:30	1:25	5:55	歩行時間比(実行/ガイドブック) 0.76		
	実行	3:02*	2:01	5:03	*登下山口に車を配置し35分の林道歩行をゼロに		
実行コースタイム記録							
(中央高速道)(R101/観音峠/大野山林道) 0:19 0:23 0:13 0:39							
本厚木===相模湖IC===談合坂SA===双葉SA===観音峠登山口-----めまい岩-----岩場(ロープ)-----曲岳-----							
6:15	7:05	7:18-30	8:15-18	8:55-9:20	9:39-52	10:15-33	10:46-51
	0:10	0:10	0:10	0:07	0:11	0:27	0:13
-----昼食-----八丁峠分岐-----枳形山分岐-----枳形山-----枳形分岐-----黒富士(先の展望台)-----八丁峠分岐-----							
11:30-12:20	12:30	12:40	12:50-13:00	13:07	13:18-36	14:03-10	
-----黒富士登山口=====双葉SA=====藤野PA=====本厚木							
	14:23-47	15:30	17:15-18:00	19:15			
コースの概要、特記事項、反省事項等							
<p>この山行は、本年度の計画においてSYさんが計画担当されることになっていたが、ご都合により計画/CLを辞退されることになった。山梨百名山2座が含まれており、TTCとしては初めて計画する山域であることから、このまま中止するのは忍びないとの声が上がリ、これに応じてYMさんが計画を引き受けていただいた。更にMYさんによる計画細部補強とCLを受けていただいて実施の運びとなり16名の方々が申込みをされた。ところが実施日の10日ほど前にMYさんが家庭内で転んで怪我をされたとの連絡が入り、完全に“金魚のフン”状態でのんびりと構えていた自分にCLの役が急遽回ってきた。心もとないことこの上ないが、大ベテランのYMさんが計画/SLを担当されており、当日は先導をお任せすることで、雇われCLをお受けすることになった。</p> <p>当日は予報通り良い天気にも恵まれた。マイカー3台が各所でメンバーをピックアップして、計画通り談合坂SAで落合うことができた。双葉SAの脇にあるETC出口を経由して観音峠登山口には計画より35分早く到着した。ここで下山後の約35分間の林道歩きを割愛するため、SKさんと自分で車を下山口にピストン移送させた。</p> <p>全てが順調である。準備運動を入念に行なってスタートするが、いきなりの急登である。「ゆった〜り山行なのになかなかのものだね…」というような声が出るものの、まだ余裕である。暫く行くとめまい岩に出て、登山道から7~8mの所にある絶壁の先に景観が広がっており、8名ほどがこれを堪能した。更に急峻な登りを進んで行くとロープの張ってある岩場があり、曲岳のピークを挟んで岩場のアップダウンの繰り返しとなった。このような岩場となるとワクワクする人もいるが、一方で、足がすくんで息も上がり、歩みが進んで行かない方も見受けられ、“ゆった〜り”に惹かれて参加された方には厳しい感が否めなかった。慌てることなくゆっくり歩を進め1時間半ほど歩くと落ち葉の敷き詰められた広場に出て、陽だまりの中でのんびりと昼食をいただいた。後半は枳形山から黒富士を経由して随所で紅葉や富士の景観を楽しみながら、名前通りのゆった〜り山行を存分に満喫することができた。帰りは藤野PAで落合い、会計報告を済ませて解散とした。天候に恵まれ、変化に富んだ楽しい山行であったが、いきなりの急登を登り、かなり急峻な岩場のアップダウンがあった山行レベルとしては計画★★☆に対して実際には★★☆はあったと思われ、ゆった〜り山行として選択したことが適切であったか、考えさせられるところがあった。</p>							